

---

# BUSINESS REPORT 2019

---

2019年3月期 期末報告書  
2018年4月1日～2019年3月31日

**YSK**  
焼津水産化学工業

### 天然素材のフィールドで、“おいしさと健康”を追求します。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第60期（2018年4月1日～2019年3月31日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 山田 潤

### 当期の事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済を取り巻く環境は、政府の経済政策を背景に、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費の持ち直しと共に、企業収益や設備投資等の改善により緩やかな景気回復基調が続いています。一方、米国を起因とした通商問題の長期化や金融資本市場の変動懸念等による景気の不確実性の高まりから、先行きは依然として不透明な状況となっています。

食品業界におきましては、消費者の食の安全・安心に対する意識の高まりや人手不足による人件費、物流費の上昇等もあり、厳しい収益環境が続いています。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「YSK Priority」の最終年度にあたり、“強み分野へ集中”することにより、“水産系天然素材メーカーNo.1”を目指した積極的な取り組みを進めてきました。

具体的には、i.収益基盤の確立、ii.新規事業領域の拡大、iii.人・組織機能の強化、の3つの重点施策を推進してきました。当社グループの強みである水産系の天然素材を原料とした調味料、機能性食品素材の販売を強化するため、国内では東京開発拠点を活用して、中食、外食業界への調味料の展開に注力したほか、機能性食品素材において機能性表示食品制度を活用した営業活動を行うなど、販路拡大に取り組んできました。海外では、海外事業本部及びタイ国バンコクの駐在員事務所を中心に、ASEANをはじめとした現地のマーケット情報収集や海外市場の開拓に取り組み、今後の海外展開における土台を築くべく活動を進めてきました。その他、アグリ分



野への展開など、新規事業の拡大に向けた取り組みを行ってきました。また、製造面については、主力の掛川工場をはじめとした各工場において効率化や安定製造に向けた取り組みを進めてきたほか、生産性向上を図るべく工場集約の計画を進めてきました。その他、掛川工場以外の工場においても食品安全システム認証「FSSC22000」を取得すべく取り組みを進めるなど、更なる“食の安全・安心”に向けた活動を行ってきました。人・組織機能の強化においては、人事制度の改定と定着を図ると共に生産年齢人口の減少やワークライフバランスの推進等への対応として、教育・研修の充実やIoTの活用による生産性向上に向けた取り組みを進めています。

## 配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。利益配分につきましては、時代のニーズに対応するための研究開発、生産、市場開拓等への

投資を進める一方で、配当性向を勘案しつつ継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。当事業年度の期末の配当金につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、普通配当を1株につき14円、創立60周年記念配当として5円を加え19円とさせていただきます。2018年12月4日に実施済みの中間配当金1株当たり10円とあわせて、年間配当金は1株当たり29円となります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 配当金推移

(単位：円)



## 新中期経営計画

### Create Next YSK

当社グループは「3か年中期経営計画」を策定しました。新中期経営計画の名称は『Create Next YSK』です。

変革と創造で次のステージへと進むために

「おいしさ」と“健康”で価値創造フィールドを拡大し、顧客に支持される食品メーカーへ

を経営ビジョンに掲げ、グループ一丸となって活動していきます。

#### 『Create Next YSK』の基本戦略

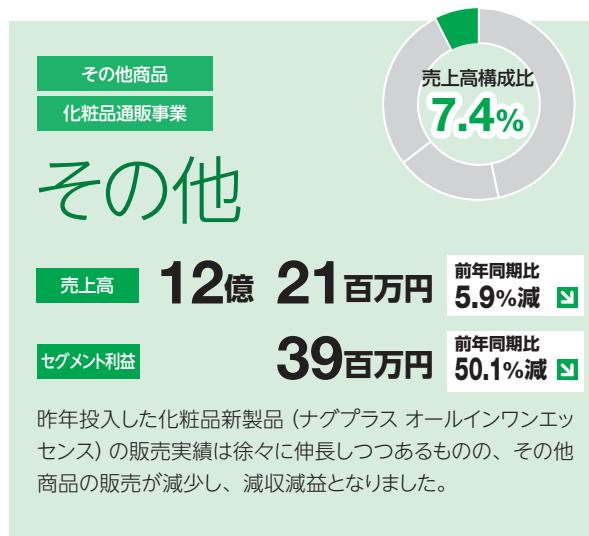
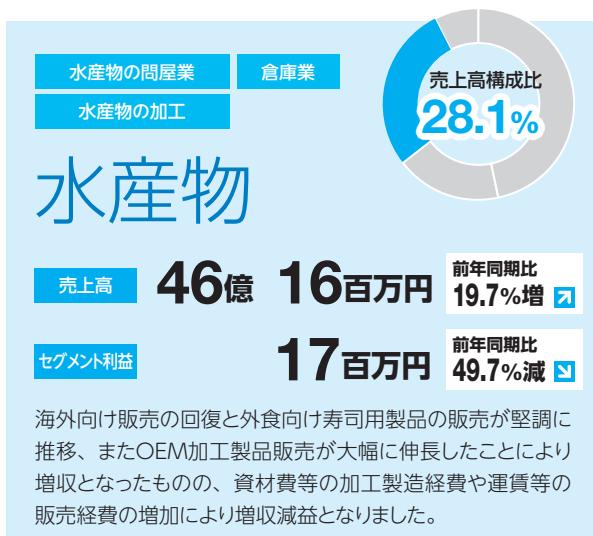
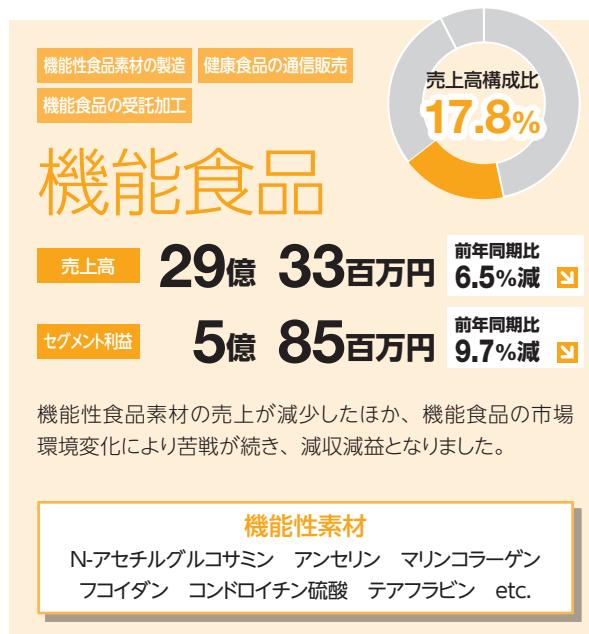
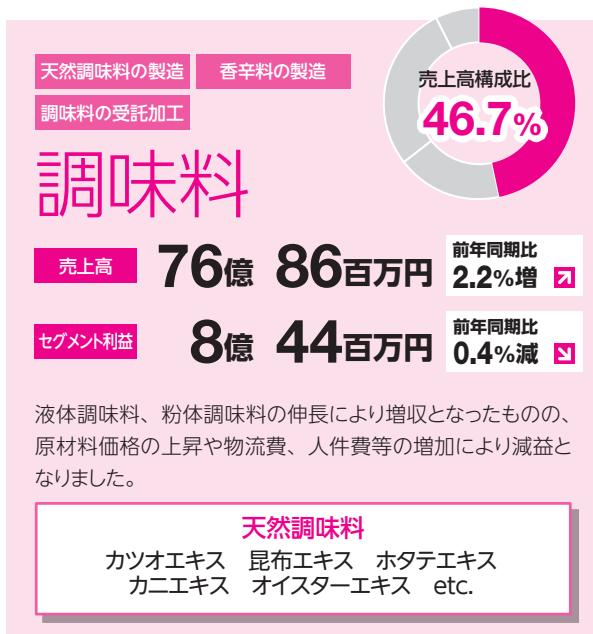
- (1) 差別化とフィールド拡大による成長
- (2) 海外事業のステージアップ
- (3) 新規事業育成

## 重点施策

- (1) 差別化とフィールド拡大による成長  
(国内調味料、国内機能食品事業)
  - ・新規顧客開拓と顧客視点の販売・開発体制構築
  - ・強み拡大の成長戦略を川上・川下を問わず推進
  - ・試験研究費、生産設備への積極的投資
- (2) 海外事業のステージアップ (海外展開)
  - ・当社グループにおけるリソースのすべてを活用し経営資源の積極投入により海外事業を推進
- (3) 新規事業育成 (新たな事業分野創出)
  - ・一定の人的リソース、当社グループ技術等の経営資源を投入しながら新規分野に積極的に挑戦

(単位：百万円)

	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (目標)	増減
連結売上高	16,458	17,000	+542
連結営業利益	875	1,100	+224



※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用（611百万円）控除前のものです。

## 株主優待制度を変更しました

2019年3月末時点で当社株式を100株以上保有の株主さまに、5月下旬に保有期間と保有株式数に応じて「株主優待券」を贈呈させていただきました。

株主の皆さまのご要望にお応えし、今回から優待品を当社グループ商品の中からご自由に選んでいただく仕様に変更しています。「株主優待券」に同封しました「株主優待 専用カタログ」に掲載された当社グループ会社商品の中から好きな商品をご注文いただけます。

株主優待としての“商品”のお届けは、7月末までに株主ご優待券でご注文いただいた方のみとなっておりますので、ご注意ください。



こちらの封筒でお届けしています。

## 当社の機能性食品素材「アンセリン」に注目！

当社の「アンセリン」が日経トレンドィ12月号の「2019年ヒット予測100」に「痛風予備軍の“免罪符” 抗・尿酸値ドリンク（アンセリン）」という標題で17位にランクインし、アンセリンを配合した商品が続々発売されるという内容が掲載されました。アンセリンには、血清尿酸値が健常域で高めの方の尿酸値の上昇を抑制することが報告され、注目されています。

当社子会社のUMIウェルネス㈱は、「アンセリンEX」を機能性表示食品として7月にリニューアル発売します。当社は、食品・サプリメントメーカー各社を通じてアンセリンを配合した多くの商品をお客様にお届けできるよう、研究開発および営業活動を強化してまいります。



## おかげさまで当社は創立60周年を迎えました

当社は、2019年3月18日をもって創立60周年を迎えました。また、2018年11月25日をもって株式上場30周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆さまをはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は今後とも“おいしさ健康”を皆さまへお届けできるよう、積極的な事業展開を図ってまいります。株主の皆さまには、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



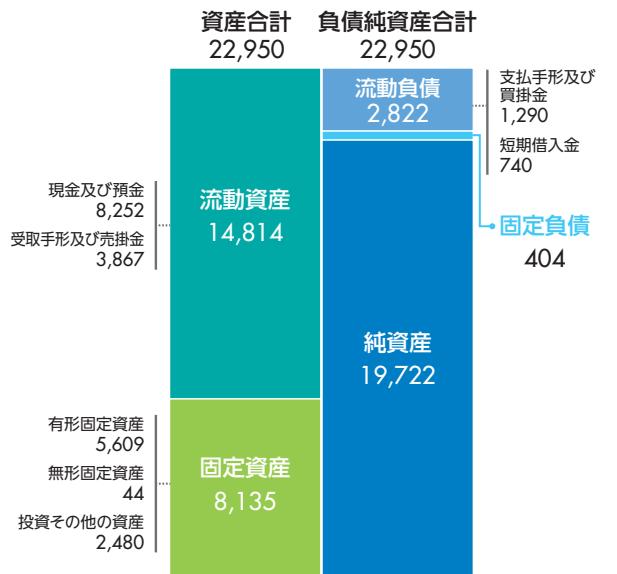
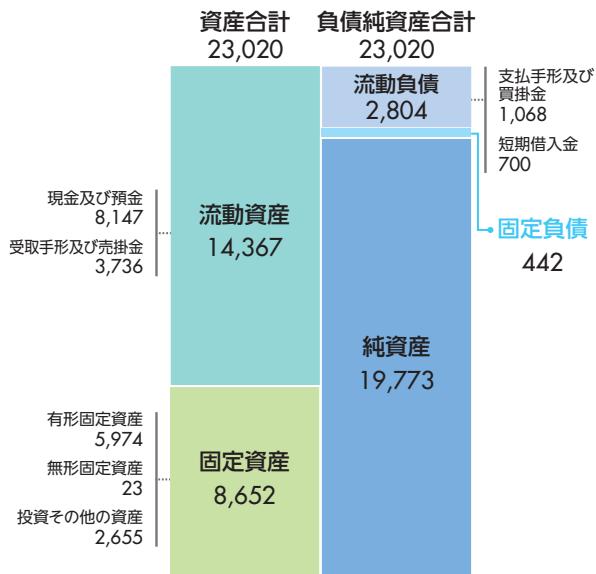
# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

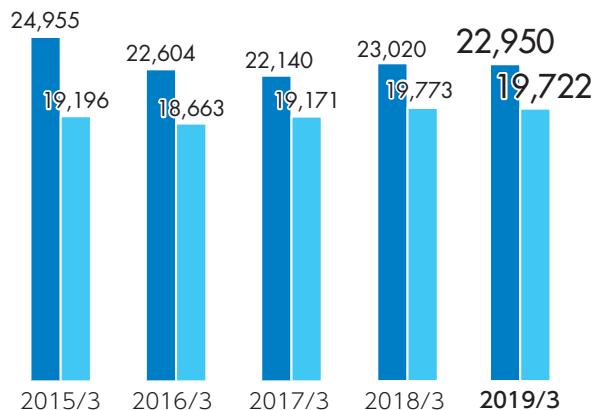
前期 (2018年3月末)

当期 (2019年3月末)



● 総資産 ● 純資産

(単位：百万円)



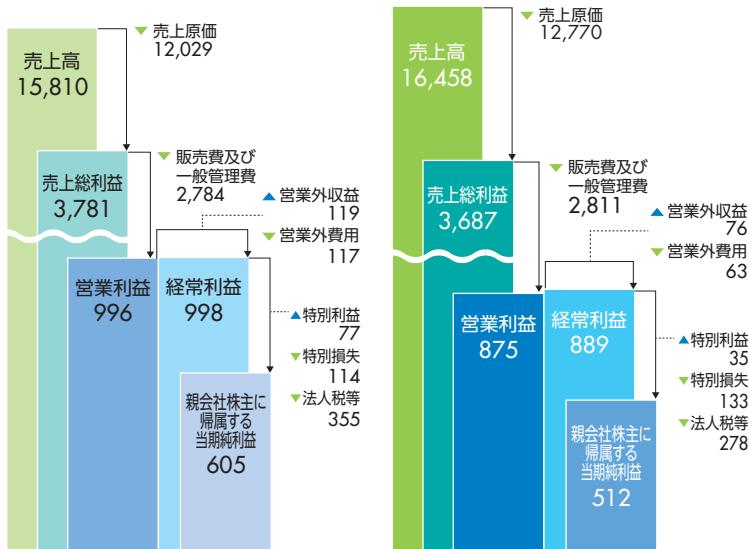
- 当期末における総資産の総額は、前期末に比べ70百万円減少し229億50百万円となりました。
- 流動資産は、148億14百万円（現金及び預金が1億4百万円、受取手形及び売掛金が1億30百万円、商品及び製品が2億10百万円増加した一方、仕掛品が40百万円減少したこと等により14億46百万円増加）。
- 固定資産は、81億35百万円（低稼働となった一部の資産に係る減損損失88百万円を計上したこと並びに期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が3億64百万円減少したほか、保有株式の株価下落により投資有価証券が1億63百万円減少したこと等により5億17百万円減少）。
- 流動負債は、28億22百万円（支払手形及び買掛金が2億22百万円、短期借入金が40百万円増加した一方、未払法人税等が1億75百万円、未払消費税等が59百万円減少したこと等により18百万円増加）。
- 固定負債は、4億4百万円（繰延税金負債が44百万円減少したこと等により38百万円減少）。
- 純資産は、197億22百万円（利益剰余金が2億14百万円増加した一方、自己株式の取得により自己株式が1億51百万円、その他有価証券評価差額金が1億13百万円減少したこと等により50百万円減少）。この結果、自己資本比率は85.9%となりました。

## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

前期 (2017年4月1日～2018年3月31日)

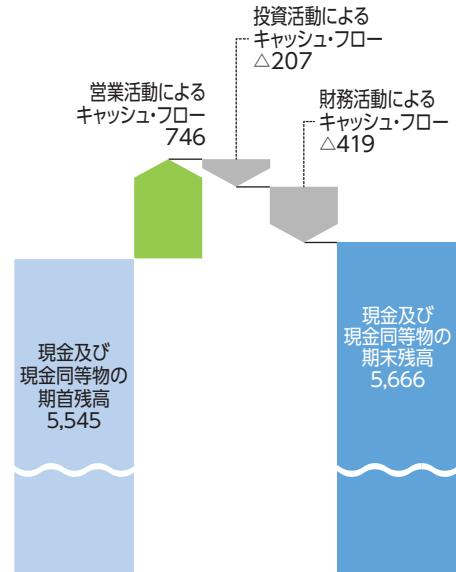
当期 (2018年4月1日～2019年3月31日)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

当期 (2018年4月1日～2019年3月31日)



- 当期における連結売上高は、機能食品及びその他商品で一部製品の販売苦戦があったものの調味料及び水産物の販売が伸長したことから、164億58百万円（前年同期比6億47百万円、4.1%増）の増収となりました。
- 利益面は、生産性改善に取り組んだものの原材料価格の上昇や物流費、人件費等の増加が影響し、連結営業利益は8億75百万円（同1億20百万円、12.1%減）となりました。連結経常利益は、営業外収益において受取賃料が減少した一方、営業外費用において減価償却費が減少したこと等により8億89百万円（同1億9百万円、10.9%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益において夏場の台風被害に係る損害に対する保険収益を計上した一方、特別損失において台風被害に係る損害に対する災害損失並びに低稼働となった一部の資産の減損損失を計上したこと等により5億12百万円（同92百万円、15.3%減）となりました。

- 当期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は56億66百万円となり、前連結会計年度末比1億20百万円増加しました。
- 営業活動 増加した資金は7億46百万円（前年同期比5億38百万円減）となりました。内訳としては、税金等調整前当期純利益7億90百万円、減価償却費4億80百万円等の増加要因に対し、法人税等の支払額4億35百万円、たな卸資産の増加額1億70百万円、売上債権の増加額1億30百万円等の減少要因があります。
- 投資活動 減少した資金は2億7百万円（同4億50百万円増）、内訳としては、有形固定資産の取得による支出1億99百万円等の減少要因があります。
- 財務活動 減少した資金は4億19百万円（同74百万円減）、内訳としては、配当金の支払額2億98百万円、自己株式の取得による支出1億55百万円等の減少要因があります。



## ■ 会社概要 (2019年3月31日現在)

**商号** 焼津水産化学工業株式会社  
**事業内容** 天然調味料および機能食品の製造販売  
**資本金** 36億1,764万円  
**創業年月日** 1959年5月15日  
**取引銀行** 静岡銀行/三井住友信託銀行  
**事業所**  
 静岡本部 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号  
 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F  
 TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031  
**焼津本社**  
**営業所** 東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所  
**工場** 静岡県内3工場(焼津・団地工場 大東工場 掛川工場)  
**連結子会社**  
**●マルミフーズ株式会社**  
 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100%  
 主な事業内容 水産物の加工・販売  
**●UMIウェルネス株式会社**  
 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100%  
 主な事業内容 健康食品・化粧品通信販売

## ■ 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月下旬  
**株主確定基準日** (1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日  
 (2) 期末配当金受領株主 3月31日  
 (3) 中間配当金受領株主 9月30日  
 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日  
**単元株式数** 100株  
**上場金融商品取引所** 東京証券取引所 市場第1部  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
**同事務取扱所** (〒168-0063)  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話番号 (0120) 782-031 [フリーダイヤル]  
**同取次所** 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店  
**公告の方法** 電子公告 <https://www.yskf.jp/ir/koukoku.html>  
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
**株式に関する各種手続きのお申し出先**  
 (1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合  
**▶株主様が口座を開いている証券会社**  
 (2) 特別口座に株式がある場合  
**▶三井住友信託銀行株式会社**  
 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル  
 またはホームページをご利用ください。  
 フリーダイヤル (0120) 782-031 (9:00-17:00)  
 ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスののご案内」をご覧ください。

## ■ ウェブサイトのご案内

<https://www.yskf.jp/>



当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

◀ トップページ

UMIウェルネス  
オンラインショップ  
<https://www.umiwellness.com/>



オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。



## ■ IRカレンダー

第1四半期			第2四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月
	5月下旬 ■ 株主優待発送	6月上旬 ■ 定時株主総会招集ご通知発送	6月下旬 ■ 定時株主総会	8月上旬 ■ 第1四半期決算発表	9月末日 ■ 中間配当金受領株主確定日
第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	11月上旬 ■ 第2四半期決算発表			2月上旬 ■ 第3四半期決算発表	3月末日 ■ 決算日、期末配当受領株主確定日

UD  
FONT

